

オミクロン株がたの新コロナ感染拡大もようやく下火には向かいつつありますが、依然高止まり、プースターの3回目のワクチン接種は受けたものの用心に越したことはありません。今年の冬季の気温は気象庁の予報が的中、寒い日々が続きましたが、3月に入り平年並みの陽気に戻ってきたようです。遅れていた、蠟梅、梅、オウバイ、マンサクの開花に続きクサボケ、サンシュユ、アケボノアセビ、ジンチョウゲミモザなども開花をはじめ散策の眼を楽しませてくれるようになってきました。

一方観察の主題である「サクラ」の方でも「ソメイヨシノ」の花芽も欲目か「芽」も少しは膨らみ、芽から、茶色の頭がのぞくようになってきています。また、既報の遅れていたカワズザクラやヒカンザクラはすでに満開、春一番を感じさせるようになってきています。TV でも毎日天気予報と共に「サクラ」の開花予報の後、気象予報士の開花予報が流されるようになってきました。本報では気象庁や気象会社から発表されている、今後のお天気の様子、開花予報、それに近所の「サクラ」の情報や独自の「開花」予報などについて書くつもりです

### 1. 今後の気温の見込みについて・・・大阪気象台発表

向こう3ヶ月間の天気予報は毎月26日に、気象庁から日本の4地域区分で発表されますが、これをベースに地域気象台が地域別の1ヶ月間の予報（毎週更新される）が発表されています。直近の近畿の予報は大阪気象台から下記のように発表されており、後は気温はかなり高めに推移する見込みとなっています。なお、3月1日～10日までの旬平均気温は京阪神各地ではほぼ平年並み（正確には0.3～0.5℃低目）にすいしました。今後のご参考に。

近畿地方 1か月予報(03/12～04/11)		
2022年03月10日14時30分 大阪管区気象台 発表		
特に注意を要する事項	期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 03/12～ 04/11	天候	近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率60%です。
1週目 03/12～ 03/18	気温	1週目は、高い確率80%です。
2週目 03/19～ 03/25	気温	2週目は、高い確率60%です。
3～4週目 03/26～ 04/08	気温	3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

## 2. 今年のサクラ（ソメイヨシノ）の開花予想日

### \*日本気象協会 3月10日発表

開花は、平年並み

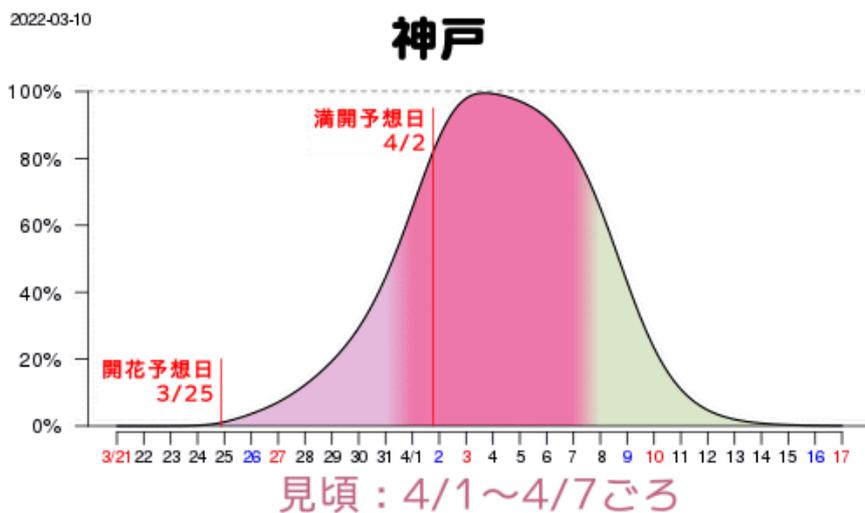
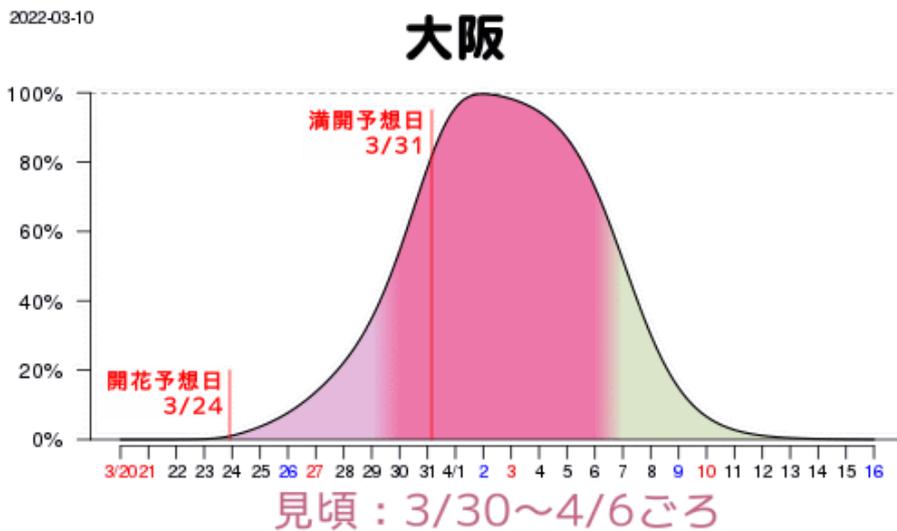
10月は平年より高め、11月から12月にかけては平年並み、1月から2月にかけては平年より低めの気温でした。3月は平年より高めの気温が予想されるため、開花は、平年並み。

・大阪の開花3月26日、満開 4月2日、京都 開花3月26日、満開4月3日

### \*ウエザオマップ社

下図のような予報が出されています。

## さくら見頃予想



・大阪・神戸以外では京都（開花3月24日、満開3月31日、）奈良（開花3月25日、満開3月30日、彦根（開花3月29日、満開4月4日）、和歌山（開花3月23日、満開3月30日）と昨年よりは遅いが平年よりは早くなるとの予報が出されています。

\*これまで紹介して来た「サクラ」類、その他の樹木の開花が大幅に遅れて来ましたが、「ソメイヨシノ」の開花はなぜ早くなるのでしょうか？ 後半で解説します。

\*3月12日づけ「毎日新聞」の【なるはドリ】の記事、「東京の桜の開花はなぜ早い？」（読者の質問に対してのQ&Aを紹介しておきます。）紹介しておきます。

### 適度な冷え込みが促進、今年も最速「18日」予想。

・Q: 開花日が同じ地点を結ぶ「桜前線」は南から北上するんだよね？

A: そうとも限らない。気象庁が現在の基準での観測で1953年から昨年まで、最も早く開花したのは高知（18回）で、東京は6回で宮崎（5回）や静岡（3回）よりも多い。さらに東京が最も早く満開を迎えたのは12回に上がり、福岡（6回）、鹿児島（5回）を上回っている。「ウェザーニューズ」社は今年も東京と福岡が全国で最も早く**3月18日**に開花するとの予報を発表している。

・Q:東京は南の地域より早く咲く傾向があるのだね。どうしてかな？

A:ソメイヨシノは低温に一定期間さらされることで花芽が休眠状態から目覚めるため、冷え込みが弱いと開花が遅れます。平年の12~2月の最低気温の平均を見ると、東京は2.3℃、鹿児島は5.8℃となっています。東京は適度に冷え込むことが開花の早い一因でしょう。

・Q:そもそも、開花や満開はどこの木を基準にしているのか？

（回答は標準木の説明ですのでAは省略します。ただ、東京の標準木は靖国神社境内の樹、樹齢70年。樹齢の高い樹ほど開花は早いと解説。・・・逆ではないかな？）

\*以上、ご参考に。

## 3. 近所の「サクラ情報」

### 3-1. カワズザクラ

既報のように、今年も近くの芦屋市の2ヶ所で観察を続けてきました。このところの暖かさの所為か、急激に開花が早まり、3月12日に東山公園の「観察木」は満開、もう1ヶ所は8分咲きになりました。

今年はこの「河津桜」については数人の方々から、大仙公園、長居公園、東大阪、さらに関西では最も植栽の多い「淀」の情報も2人の方から頂きました。この「淀」2件は私の観察地である「東山公園」（約30本植栽）の現象と相通じる点が多いので原文のまま紹介させていただきます。

・昨日、淀のカワズザクラを観てきましたが、平均、2分咲きでした。カワズザクラは、だいたい木によって、開花の差があるのですね。全く開花していない木もあれば、満開に近い木もありました。（Nさんからの3月9日の情報）

・今日は淀水路の河津桜200本のほとんどが7部咲きから満開でした。2日前は4部咲だったので2日間で開花が進みました。今年も10日くらい開花が遅かったです。淀城跡公園のソメイヨシノの蕾は膨らみはじめていました。（Yさんから3月12日の情報）



\*前ページの写真は芦屋・東山公園で勝手に「観察標準木」に決めている樹のもの、同じ公園内でも南面の若木は数日前には満開、園内ではまだ2分咲きや5分咲きの樹もあります。同じ場所でも開花に差のあることはお便りの通り。また、もう一か所の「観察木」は3月3日に数輪、8日でも1～2分咲きで開花の状況も遅いと思っていましたが、12日には8分咲きとなり驚いています。10日以降の暖かさで急激に開花が進んだようです。皆さまからの情報に一致いたします。

・なお東山公園の「観察木」・去年は2月28日の開花、宮川の「観察木」は3月3日が満開日でしたのでやはり10日前後の遅れとなりました。

### 3-2. ヒカンザクラ

芦屋川河畔公園の観察地、こちらも3月12日現在、5本の内1本は右の写真のように8分咲き程度にはなっています。この桜の満開と言っても、他の桜とは違い写真のように平開せず、下向き、筒状の花咲が開く程度ですので見栄えがしません。去年の満開日は3月5日でしたので、これも10日近く遅れての満開と言えそうです。



### 3-3. シナミザクラ

早咲きの桜としては上記の2種以外に「サクランボ」をつけるシナミザクラが知られる。去年は2月27日に開花、開花が始まるとどんどん花数を増やし、3月3日には満開となったとの記録が残っている。近くにこの種は3ヶ所にあることが分かっており注意して見てきている、3月12日午前には下の左の写真のように開花が始まったのかな?程度でしたが、13日の夕方には右の写真のように開花が2分程度まで進んでいました。3月12日を今年の開花日として良いかなと思います。昨年よりは2週間遅れた開花でした。一旦開花が始まるとパッと咲くがこの種の特徴のようです。もう1ヶ所の樹も3月13日夕刻には数輪の花を開き開花となりました。残るもう1ヶ所の樹は蕾の膨れ状況から明日の開花は確実でしょう。開花の進行スピードが速いので、しばらく目が離せません。



### 3-4. ケイオウザクラ (啓翁桜)

このサクラも昨年までは名も知らず、近くにありながら満開になってから画像を挙げる状況でした。このサクラも附近に3ヶ所植えられていることを知り、散策の途中で見えています。数日前から”芽”から蕾が覗いている状態でしたが本日(3月13日)開花となりました。

このサクラは昨年度の「サクラだより 4」に採り上げ同じ樹の2月27日(3分咲き程度)の画像を掲載しています。このサクラの開花も今年は2週間以上遅かったこととなります。本種はシナミザクラとヒガンザクラの人工的交配種とされ開花も比較的早いのでしょうか。



\*今年の、カワズザクラやヒカンザクラ、あるいは前報で記述した梅やミモザなど樹木の開花が遅いので、今年のソメイヨシノやヤマザクラなどの開花が遅れるのではないかと思われがちですがそうとは限りません。

勿論、ヒカンザクラも「冬芽」は作ります。近年、南西諸島ではこの「休眠打破」が完全にはなされず、開花はしたが満開には至らなかった年があったことを前報で記述した通りです。ただ、「休眠打破」に必要な温度条件などは、かなり高く多分この近辺では秋、冬季に入る前に終わっているはずで、「休眠打破」後、開花までは積算温度次第、従って前報で述べたように、今年の冬の気温の12月から2月までの積算値が昨年比で1000℃・Day程度の差があったこと、2月の日平均気温が6~7℃であることなどを考慮すると開花の遅れは妥当なものと思われまます。「カワズザクラ」も母種はこのヒカンザクラですので、恐らく「休眠打破」は冬季以前に終わっており、冬季積算温度に依存すると考えられます、一昨年は記録的な暖冬であったので、かなり早く開花し、3月初旬には同じ観察樹は既に「葉桜」状態になっていたことを伝えたはずで。

また、前報で紹介した「オカメザクラ」は「ヒカンザクラ」と早咲きの「マメザクラ」の交配種であることから休眠打破も秋、早く咲くのでしょうか。

ところで、今後開花する「ソメイヨシノ」などは上記とは逆に冬季、特に12月、1月の気温が低い方が開花は早まる傾向になります。勿論「休眠打破」の始まる時期に関係するからです。一般的には、1月末には「休眠打破」は終わっており、開花は2月始めからの積算温度、一気象予報士の多くは日最高気温の積算値、6000℃で開花と説明一。私は、休眠打破推定日からの日平均気温の積算温度4000℃を採用しています。日最高温度は点、日平均温度は時間の入った面、植物の生き様をどちらで見るのが良いのでしょうか。算定法はともかく冬季温度の低かった今年の開花は今後の気温次第と言えるでしょう。

「サクラ」は良いとして、ツバキ、ヒイラナンテン、梅、蠟梅、ミモザ・・などの開花が遅れた理由は、「冬芽」とは関係ありません。これ等は秋に涼しさを感じて「蕾」を作る種。晩秋から初冬の気温が高ければ年内でも開花、気温が低ければ年を越して咲く種です。冬季の気温が低ければ開花が遅れるのはあたりまえのことです。

また、今年はサザンカ、蠟梅などが咲き続けています。これも、この冬の低温が影響したのでしょうか。昨日はやっと「ミモザ」の開花を見ました。また、草本の方は、既に春の装い、散策路でもタンポポ、ホトケノザ、カラスノエンドウ、フラサバソウ、スマレ、ツタバウンランそれに特に目を引くのが「オオキバナカタバミ」の拡大のすごさ。こちらは、地表の生活、樹木ほど寒さの影響を受けないのでしょうか。

#### 4. ソメイヨシノの「切り枝」加温テスト

今年もソメイヨシノの「休眠打破」の状況を見る目的で、切り枝を使って、室温での加温テストをおこなって来ており、前報で2月5日の切り枝でのテスト結果を報告しました。結論は、例年より早く、1月末ごろから「休眠打破」は始まっていること、このことは追加で加えた2月16日の切り枝でも8個の花芽の内2個が開き、それぞれ3輪の花をつけ上記と同じ結論でした。

今回、開花期に先立ち2月末時点でどの程度の「花芽」が休眠打破されているかを見る目的で2本の切り枝、A:比較的若い枝、1~2年生短枝6本、花芽20個、葉芽7個、B:3~4年生短枝4、花芽20個、葉芽4個を同じような方法でテストして見た。その結果、10日後（加温2000°C・Dayに相当）には、開花には至りませんでした。。。

A:花芽20個中、膨れ蕾覗く5、膨れ11個、変化なし4個、葉芽は不変。

B:花芽22個中、膨れ蕾覗く7個、膨れ7個、全く動かなかった芽6、少し変化2、葉芽は不変。

・開花は12日には見られ、13日にAで4個、蕾4個、Bで開花6個、蕾2個となった。

このテストの欠点は、開花が始まると枝に蓄積された養分（今回のテストでは水にグラニュー糖、0.5%ほど加えてみましたが・・・本当はグルコースが良いと思うが）が消費され、未開の芽の成長が止まること。昨年までのテストでは、花が咲いてもすぐ萎む、残された芽の成長は停滞する等の現象が見られたが、今年のテストでは花は萎むことなく、花びらを広げているし、蕾の成長も見られる。やはり、「糖」の効果はあったのかな？とは思っています。（下の写真参照）

\*なぜ糖を加えたか？・・・この理由は以下の通りです。

一般に落葉樹では冬季の間は「凍結・凍裂」などを避ける為、地上部の幹・枝の水分を下げています。また養分も主に根に蓄積されています。芽吹きの間が近づくと樹木は水と共に養分を枝や芽に送り込みます。このことを利用して、2月末~4月にカナディアンメープルから樹液を採取シロップとするとこと、日本でもこの期にイタヤカエデやシラカバから樹液を採取、甘味剤にしている地域もあります。また、開花や展葉には「芽」に貯められた養分は知れたもの、樹本体からの養分（グルコースなど）の補給は必須。

\*本論に戻って・・・今回のテストでは12日の開花ですので、大阪を基準とすると2月の積算温度は160°C、3月1日から11日までの積算温度は93°Cで、400°Cまでの差は147°Cとなります。今後とも平年並みの10°C程度の気温が続くとすれば、開花までには15日必要。従って3月26日がこの地域の開花日と算定されるが如何でしょうか？

\*写真左は3個の膨れた芽、先端の葉芽、下方の変化なしの「休眠打破」されていない芽、比較して見て下さい。右は昨日の全体画像、開花に続き、蕾、膨れた芽も見られると思います。

\*昨日、本年度の「近所のサクラ」調査の依頼、並びに記入シートが配信されています。難しい調査ではありません。異常気象の続いた一昨年、昨年続く今年、サクラの開花や満開、どう変わるでしょう。情報は多いほど良いに決まっています。私からもご協力をお願いします。

